

平成 27 年度 第 3 回大阪府立今宮高等学校 学校協議会 記録

日時：平成 28 年 2 月 16 日（金）15：50～17：00

場所：本校 校長室

協議会委員（敬称略）

吉村 和彦	芦屋大学教授 元今宮高校校長
竹村 弘文	大阪市立木津中学校校長
藤岡 靖夫	自彊会会長
安東 仁美	後援会会長
鳥津 刈野	P T A 会長
山本 英夫	戎橋商店街振興組合事務局長

- 1 校長挨拶
- 2 協議会委員および事務局員の紹介
- 3 事務局からの報告

①授業アンケート（12月実施）

- ・同一年度（18, 19, 20 期生）で比較すると、学年が上がると評価も上昇
- ・同一学年（18 期生）で H26 年度と H27 年度を比較すると、1 年次から 2 年次は評価に大きな変化なし。
2 年次から 3 年次はかなり満足度が上がる
- ・別年度の同じ学年では大きな変化なし

②学校教育自己診断（12月実施）

教員・生徒・保護者の比較

- ・学校満足度・・・3 年生（18 期生）保護者・・・否定的回答なし。
- ・行事・部活動に関しては H27 年度の方が評価高い。
- ・生徒指導・進路指導に関しても H27 年度の方が評価高い。
- ・教育相談について心身について相談できたか 肯定的回答 60%・・・目標は 70%
質問内容を変えて「相談したいことがあった」⇒「相談できた」に変更
少しは改善できたが 70%に達していない
- ・環境・ボランティアに関する項目・・・1 年生と先生方とのギャップが他学年よりも大きい
- ・講習・補講・自習室開放に関する評価・・・生徒と教員のギャップが大きい
- ・授業の前にその授業のポイントを伝えているか・・・教員は 90%，生徒は 50～60%の評価
- ・図書館利用・・・2・3 年生 60～70%、1 年生 10%。

③H27 年度学校教育計画の自己評価について

- ・今宮ブランドの生徒意識の向上・・・
校歌を始業式・体育大会で歌うようになった。校歌 DVD を生徒自治会生徒中心に作成
- ・学習スタンダードの整備・・・国語はすでに完成。数学・英語未完成
- ・センター試験・・・昨年よりも受験生がやや減少
- ・学習習慣の定着・・・スタディサポートの実施、学習習慣の把握と向上、各学年・教科で分析会実施
- ・ICT 活用・・・3 年生…60～80%に向上。3 年生の全教室にプロジェクタ設置
- ・生徒の学力保障・・・「授業中に大きな声で発言しよう」という項目は達成度 40～50%
目標の 50%には達成できなかったが昨年度よりも向上、
- ・英検のチャレンジ・・・本年度 233 名受験・・・校内一次試験、二級 6 名/22 名
準二級合格率 84%なので全国平均合格率 33%をかなり上回っている
- ・学習記録カード・・・「クラブも勉強もしっかりやろう」という目標。クラブの先生と協力しながら。
- ・校長任命方式・・・学年と分掌との連携の評価が下がったことが反省点。
- ・遅刻数は昨年度よりも 15%減少。学校に来にくい生徒もおり、延べ人数で判断するのがよいかどうか。
- ・平成 28 年度の土曜日授業は年間 5 回程度。いずれも代休あり。
- ・平成 28 年度に向けて・・・平成 27 年度に新たに実施した施策の定着を進める。

4 協議

- ・生徒がどうすれば「やる気」を出してくれるか。
 - ・一般的な教員は「自己満足的」な先生。生徒の心に火をつける教員が求められる。
 - ・教員が「教え過ぎない」教育を心がける。
 - ・生徒が様々な経験を積み重ねていけば、日頃の勉強がいかにか一部でしかないことが分かるはず。
 - ・生きる世界をもっと広げていくべき。「学び」は多様性があって初めて成り立つ。
 - ・日々の活動の中で刺激を感じながらクリエイティブな改革をすれば、やる気がある生徒が必然的に育っていくのではないか。
 - ・多様な学び・社会との繋がりを学校がどのように提供していけるのか。
- ・様々な悩みを抱える生徒が気軽に相談できる体制・雰囲気をつくるためにはどのようにすればよいか。
- ・「学校アンケート」による生徒と教員の意識のギャップの改善に向けて。
- ・今宮高校の生徒は「瞬発力」はある。継続して取り組むところがやや弱い。
- ・学習に必要な数学と英語ヒアリング力の向上が課題。
- ・数学を敬遠したがる生徒は、他の教科の成績も伸び悩んでいる。
- ・部活をしている生徒の方が、勉強時間が長い。
- ・生きていくための力は勉強だけではダメ。
 - ・点数では表せない考える力や表現力等の生きるための力を持った生徒を育てたい。
- ・脳の働きは多様な興味関心が広がるほど、また多様な学びを経験させるほど活性化する。
- ・学校の美化に関する項目について・・・「トイレをきれいにしてほしい」という意見多い。
- ・街ライブラリーについて・・・
 - ・本をもってきて、同じ興味を持った人がその本について語り合う生涯学習の場所。
 - ・「本を読む」という活動・本を媒介として人と人が繋がっていく。
- ・数学の授業・・・良い授業を見せてもらうと一歩通行ではなくグループ学習的な要素も取り入れられている。
 - ・みんなで考えながら、どんな考え方・解法があるのか相談し合う授業が良い。
- ・学習意欲・物事を考える力を高める取り組み・・・日頃の教材の準備と工夫が重要
- ・生徒がどうしたらやる気になるか、先生が「無理」といわずに温かく見守ってくれた
- ・部活の仲間が勉強面でも良いライバル関係。仲間同士で最後まで競り合って目標の進路を実現した生徒多い。
- ・部活の先輩の頑張りを後輩たちに伝える事によって後輩たちのモチベーションも上がる。
- ・部活を最後までやることは今宮のいいところ。部活を引退してからの切り替えが早い。
- ・今宮高校の生徒は高い目標をもっているため、最後までチャレンジしたいという気持ちが強い。
- ・「粘り強く頑張る」という点は、今宮で学ばせてもらったこと。